

いまやはや

Fukui Red Cross Hospital

福井赤十字病院広報誌

vol.025



◆新年のご挨拶 病長 野口正人

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、今年の抱負を述べさせていただきます。

今年はいよいよ衆議院の総選挙の年です。その結果が「崩壊寸前の医療と福祉」を改善する第一歩となるといふ、期待してい

- ①治療からの回復が早い内視鏡下手術を中心、「患者さんの体に優しい」高度医療を推進します。昨年秋には4組目の最新式の腹腔鏡下内視鏡手術システムを導入しました。
- ②今年の4月から「泌尿器科」を廃止して、腎臓・泌尿器科（仮称）を開設します。昨年は腎臓内科の専門医が産休・育休に入ったため血液透析医療が不安定になりました、患者さん方に心配をかけました。4月からは腎臓内科2名と泌尿器科5名が合体した新たな診療科を作ります。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。
最後になりましたが、今年1年、地域の

- ③具体的な診療活動としては、
●治療からの回復が早い内視鏡下手術を中心、「患者さんの体に優しい」高度医療を推進します。昨年秋には4組目の最新式の腹腔鏡下内視鏡手術システムを導入しました。
- ④今年の4月から「泌尿器科」を廃止して、腎臓・泌尿器科（仮称）を開設します。昨年は腎臓内科の専門医が産休・育休に入ったため血液透析医療が不安定になりました、患者さん方に心配をかけました。4月からは腎臓内科2名と泌尿器科5名が合体した新たな診療科を作ります。

以上活動で、地域の皆様の健康寿命が延伸できれば幸いです。
最後になりましたが、今年1年、地域の

ます。病院では患者満足度を更に向上去るため、今年の勤務のスローガンを「患者の視点で」仕事をするとしました。病棟の看護師数は7：1とゆとりができましたので、今年は患者さんの視点で医療内容を再点検します。そして、安全で安心できる、より良い治療やケアを提供します。

『患者の視点』に立つた診療を。

福井赤十字病院

理念

人道・博愛の精神のもとに、県民の求める優れた医療を提供します。

基本方針

- 患者様の権利と意思を尊重し、相互理解に基づく医療を行います。
- 患者様に優しい医療を提供します。
- 医療の安全と質の向上に努めます。
- 地域の保健・福祉・医療機関と連携を進めます。
- 救急医療を充実させ、地域の急性期医療を担います。
- 災害時に積極的な医療救援や救援活動を行います。





あなたにも起こるかもしれない 実はこわい病気! 副鼻腔炎

見えているけれど、見えない部分も多い器官、鼻。
特に見えない鼻腔の奥の異変には、注意が必要です。

鼻の疾患が、視力低下や脳障害を招く」とも。

副鼻腔炎 ふくびくうさん と言われると聞きなれないかも知れませんね。「ちくのうじょう」なら聞いたことがあります。副鼻腔炎はどんな病気か、その原因と治療について説明します。

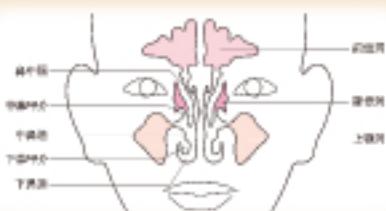
鼻から呼吸する時に息が通る道を鼻腔と言いますが、鼻腔の更に奥には洞くつの様にくつかの空洞が広がっており、これらの空洞を「副鼻腔」と呼びます。

(図の様に副鼻腔は場所で)とに名前がついています)

副鼻腔に起こる炎症を副鼻腔

炎と呼び、俗に「ちくのう」と呼ばれている病状

を起こします。ちくのうになると黄色い膿の様な鼻汁が出て、の後に流



れ落ちると痰が絡んだ様な症状(後鼻漏)が出ます。

副鼻腔炎はなぜ起こるのでしょうか? 副鼻腔の「洞くつ」内部は粘膜に覆われていて鼻腔と粘膜でつながっています。問題は洞くつの入り口の「せまさ」があります。風邪や花粉症の時にはくしゃみや鼻詰まりが出ますが、このときに洞くつの入り口の粘膜

は腫れた状態になっています。もともとせまい入り口は粘膜の腫れによって更にせまくなってしまいます。風通しが悪くなつた洞くつの内部には炎症によって膿がたまつたり、内壁の粘膜が腫れてぶよぶよになります。腫れた粘膜は洞くつの内部に納まらなくなると鼻腔にはみ出します。ちくのうになると鼻腔を形成します。

副鼻腔炎がひとくなると副鼻腔の周囲に広がって、眼球や脳の近くに膿がたまる事があり、最悪の場合視力を失つたり、脳に障

害が出ることがあります。洞くつの入り口がせまいのは誰にでも共通している事なので、副鼻腔炎は誰にでも起ります。しかし副鼻腔炎になつたことがなく、鼻炎も無い様な、一見鼻の病気と無縁な人程、副鼻腔は広く発育していますので、一旦炎症を起こすと炎症が広範囲に及ぶります。

副鼻腔炎の治療には抗生素などのくすりによる治療と、手術による治療があります。くすりの治療が効かない場合や、炎症が強くて急速に広がる場合には手術を行います。手術は内視鏡を使って、洞くつの入り口を広げるやり方が主流です。

皆さんも黄色い鼻汁が出て、痰が増えた場合には「ちくのう」かも知れません。特に頭痛やほほの痛みを伴っている場合は要注意です。早めに耳鼻科へ御相談ください。



耳鼻咽喉科 館長
岸本正直

助産師外来を

始めました。

助産師外来では、順調な経過をたどっている妊婦さんを対象に、助産師が妊婦健診や保健指導を行います。受診時間は30分程度。リラックスした雰囲気の中で、妊娠中の悩みや相談をお聞きしたり、分娩に関する質問にもお答えいたします。助産師と医師が連携をとり、妊婦さん一人ひとりの経過をサポートいたしますので、気軽に受診してください。

その他の詳細は次の通りです。

- 妊娠28週頃、医師に「助産師外来希望」とお伝えください。受診は原則、妊娠30週以降となります。



毎週火曜日・木曜日
AM9:00～11:30
☎0776-36-3630
(6270)
※完全予約制

感動的なキャンドルサービス。

さる平成20年12月24日の17時半より、毎年恒例のキャンドルサービスが行われました。220名の職員が、「きよしこの夜」「諸入ござりて」に加入、患者さんから贈られた歌も合唱。昭和34年当時入院中の庭本俊雄さんはキヤンドルサービスに感動し、赤十字の看護師と看護学生のために病床で作ってくださいました。

清らかな歌声が響き、厳園

で感動ある時間となりました。



写真を寄贈して いただきました。

さる1月16日、日本国景写真協会福井県支部長の金丸治美氏ら3人が来院され、昨年全国各地で開催された展示会の写真6点を、同協会より寄贈していただきました。

風景写真は、どれも日本の四季の美を感じさせるものばかり。現在、5番アース前に展示中です。皆さま来院時には、ぜひご覧ください。



写真是山野謙所



「危険を予知 して事故防止」

するための訓練を行いました。
安全な職場づくりに寄与し、組織全体での安全対策推進につながると考えています。



職場内に、医療現場の日常よくある風景を撮影し、その写真から危険を察え、危険予知能力の向上を図りました。



ケッチャントドコル! 目標について全員の気合を一致させ、チームワークを強めることで一体感、連携感が生まれます。

Topics

楽しいコンサートが開催されました。

さる平成20年11月25日、エントランスホールにて、二胡グループ「美音」によるコンサートを開催いたしました。どこか懐かしさを感じさせる二胡のやわらかい音色に、来院された患者様も聞き入っておられるようでした。

またクリスマス間近の12月10日には、福井東養護学校月見分校の生徒・教職員の皆さんによる、ハンドベルコンサートと当院リハビリテーション科職員によるクリスマスソングとゴスペルソングのコンサートを、さらに12月22日には、福井県仁愛女子高等学校コーラス部による合唱の演奏会を、それぞれエントランスホールにて開催いたしました。

多くの患者様にお集まりいただき、クリスマスの雰囲気を楽しんでいただけたようでした。



12月10日／ハンドベルコンサートの様子



12月22日／合唱の演奏会の様子

今後の予定

- 2月28日(土) 第21回福井赤十字病院市民公開講座
講題:「認知症について」 講師:神経内科部長兼精神科部長 高野 雄一郎
14:00~16:00／入場無料・予約不要ですので、気軽にご参加ください。

新保看護師、アフリカ「ジンバブエ」に派遣。

昨年末よりコレラが流行しているアフリカ・ジンバブエ共和国に、当院の新保比奈子看護師が急速派遣されることになりました。新保看護師は以前にも国際救護・開発協力要員として、インドネシア保健医療支援事業に参加し、多くのことを経験し学んできました。そして今回、その経験と赤十字の精神を携えての派遣となりました。

平成21年2月3日から3月18日までの期間同国で、コレラ罹患者への医療救援活動を行います。



出発前、スタッフの激励をうける新保看護師

栄養課 おすすめ!

冬のレシピ (鰯とジャガイモのカレー揚げ)

①鰯は三枚におろします。片身は横から水平に包丁をいれて間きます(切り取らず途中まで包丁を入れる)。②ジャガイモは皮を剥き一口大にして茹で、火が通ったら水を切り、少し形が残る程度に粗めにつぶします。③ネギをみじん切りにして②のジャガイモに混ぜ、カレー・パウダー、塩、コショウで味をつけます。④のジャガイモを3~4cm大に丸め、①の鰯で包みます。⑤に小麦粉、卵、パン粉の順でまぶして油で揚げます(180度約10分)。しっかりと火が通たら、半分に切って完成(好みでオーロラソースやとんかつソースなどをかけて也可)。

*オーロラソース:ケチャップとマヨネーズを合わせたソース



材料(2人分)／
鰯1枚、ジャガイモ中1個、ネギ少々(5g程度)、カレー・パウダー少々、塩・こしょう少々、小麦粉適量、卵1個、パン粉適量

| ●1人分 |
|----------------|
| エネルギー……230kcal |
| たんぱく質……21.8g |
| 脂質……………9.1g |
| ビタミンB2……0.4mg |
| ビタミンD……13μg |
| 食物繊維………1.1g |
| ビタミンB1……0.15mg |
| 糖分……………0.8g |

鰯は消化の良い皮質な蛋白質を豊富に含み、ビタミンB1、B2、Dなどが多く含まれています。ビタミンB1は脳神経の興奮を鎮めてストレス緩和や疲労回復に、ビタミンB2は過酸化脂質を分解して動脈硬化予防、老化防止に有効です。ビタミンDは、カルシウムの吸収を助け、骨や歯の健康維持に効果があると言われています。

“結ぶきずな地域とともに” ～地域医療連携マークの紹介～

右のマークは、「患者さま」を中心として「地域のかかりつけ医」と「福井赤十字病院」を結ぶきずなを表しています。当院は、患者さまにかかりつけ医をお持ちなることを推進しており、手術などの際に地域の医療機関と当院が協力し、患者さまの健康と安心を守っていきます。



結ぶきずな 地域とともに

福井赤十字病院

T918-8501
福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代)
FAX.0776-36-4133
E-mail
webmaster@fukui-med.jrc.or.jp
<http://www.fukui-med.jrc.or.jp/>
広報に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

ほやはや

“ほやはや”と納得できる情報、できたて“ほやはや”的情報をみなさまに提供していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員のスタッフ皆で毎回その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。